

## 人を対象とする医学系研究に関する公開情報

研究機関名：筑波メディカルセンター病院

倫理審査承認日：R4年6月8日
研究課題名：化学療法と免疫チェックポイント阻害薬の併用療法を行った進展型小細胞肺癌の予後因子を明らかにするための観察研究
研究期間：倫理審査承認後～西暦 2023年12月31日
研究対象：研究対象：化学療法と免疫チェックポイント阻害剤の併用治療が行われた進展型小細胞肺癌
対象材料 <input type="checkbox"/> 病理材料（対象臓器名                    ） <input type="checkbox"/> 生検材料（対象臓器名                    ） <input type="checkbox"/> 血液材料 <input type="checkbox"/> 遊離細胞 <input type="checkbox"/> その他（    ） 上記材料の対象期間   西暦            2019年9月1日～   2022年5月31日
意義・目的： 進展型小細胞肺癌の治療において免疫チェックポイント阻害剤が導入され、化学療法との併用療法が標準的な治療となりました。この併用療法後の経過を予測する指標（予後因子）を明らかにすることは今後の進展型小細胞肺癌の診療において重要なこととなります。
方法： 本研究は筑波大学附属病院を代表施設とし、茨城県内の複数の施設が参加して行われる多施設共同研究です。2019年9月1日から2022年5月31日の期間中に化学療法と免疫チェックポイント阻害剤の併用治療が行われた進展型小細胞肺癌の患者様が対象となります。病院で保管・管理している診療録から、年齢、性別、病期、全身状態、喫煙歴、診断時の採血所見（白血球数と分画、LDH、CRP）、初回治療内容、治療開始日・中止日、増悪日、効果、有害事象、御存命の期間、経過中のNSEとProGRPの検査値の情報を収集して予後因子を明らかにします。解析は代表施設にて行われますが、対応表を作成して別々に管理することで個人が特定されないように対処いたします。
問い合わせ等の連絡先 筑波メディカルセンター病院 呼吸器内科 栗島浩一（代表番号 029-851-3511）